



川井クリニックニュース

平成23年 第2号

2011年5月6日発行

東日本大震災から2か月を経て

院長・川井紘一

3月11日(金)午後の診療が始まり、患者さんの名前を呼ぼうとしていたら、ゆっくりとした揺れが始まりました。これは遠い所を震源とした地震で、そろそろ揺れも治まるかと思っていたらそうではありませんでした。一生で初めて経験した大きな揺れが続き、建物の柱が壊れんばかりの揺れを示し、色々なものが落下しました。幸いなことにその後は、コンピューターも正常に作動し、いつもの診療を終えることが出来ました。12日(土)以降も休まず診療を行うことが出来ました。来院された患者の皆様と同じで、本が倒れたり、ガラス器具が割れたり、壁に少々ヒビが入ったりといった被害を受けました。原発から漏れた放射性物質の健康被害については、レントゲンやCT撮影あるいはアイソトープ検査や治療と種々の放射線源を扱っている医療者からみると長期間(1年以上)高放射能状態が続かなければ全く心配のないものです。放射線治療では原子炉近くでの作業にあたっている人と同じか、それ以上の放射能を受けていると考えてください。野菜、魚、乳製品への過剰な心配は困ったものです。

さて、川井クリニックは、よりよい糖尿病診療を目指し増築を行いました。4月を迎え、その中身となる人材も増えました。まずは、前回のクリニックニュースでもお伝えしましたように富山大学で准教授として糖尿病診療にたずさわっていた山崎勝也医師が4月より当院で診療を始めています。山崎医師が当院での治療に慣れる5月末までは、一部3診体制となりますが、その後は井川医師の外来枠はなくなる予定です。また、管理栄養士2名、健康運動指導士1名、事務職員1名が4月1日より加わりました。これは、今いる職員が妊娠中ないし近い将来妊娠することを想定し、かつ当院で現在働いている方たちがフレックスタイムでの仕事を希望していることに対応した採用です。当面の間、不慣れなため、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、暖かい目で見守って頂ければ幸いです。

お世話になります

副院長・山崎勝也

この4月から川井クリニックに参りました、山崎です。生まれは東京都で、高校までを東京で過ごし、富山医科薬科大学(現富山大学)への入学を機に、富山に行きました。富山医科薬科大学の5回生になります。まだ、大学も新しく、卒業生もいませんでした。大学時代はクラブ活動(卓球部でした)に明け暮れた毎日でした。大学卒業後はクラブの先輩がいたこともあり、富山大学第一内科に入局しました。富山大学第一内科は、糖尿病や内分泌疾患の他に、呼吸器と膠原病を担当する科です。第一内科での研修を経て、大学院に進学しました。大学院では魚油(EPAやDHA)をはじめとする脂肪酸代謝の研究に従事しました。大学院修了後は富山県の高岡市(銅器で有名です)の高岡市民病院、済生会高岡病院に計3年間勤務しました。これらの病院では、専門疾患に特化せず、様々な病気を診ました。一般臨床の力はこの時に養われたと思います。その後は富山大学第一内科に戻り、糖尿病や内分泌・代謝疾患の患者さんの外来、入院診療にあたってきました。大学の医学部では診療以外に、教育、研究も行います。教育では学生教育として専門分野の講義や病棟実習、研修医教育では、研修医の先生と一緒に受け持ちの患者さんを診療していました。研修医の先生達と一緒に診療することは、教えるとともに学ぶことです。最近、直接の指導をすることは少なくなりましたが、カンファレンス(検討会)で治療方針を一緒に考えていました。研究では、高岡から戻ってきてからは主に臨床研究を



行いました。富山大学附属病院とその関連施設で糖尿病薬や降圧薬、脂質改善薬などに関する研究やかかりつけ医の先生方に通院している患者さんの受診中断を防ぐ研究などいろいろな研究に携わりました。その中で CoDiC という診療支援ソフトの開発に携わりました。このソフトを使っている全国の糖尿病専門施設において、日々の糖尿病臨床での利用や入力データを利用した臨床研究が行われています。川井クリニックでもこの CoDiC が使用されており、川井院長は CoDiC を使用している施設が集まった **糖尿病データマネジメント研究会(JDDM)** の副代表を務められています。この JDDM を通して、川井先生と知り合い、今回川井クリニックでお世話になることになりました。

富山は立山からの水、氷見のぶりに代表される魚、そしてコシヒカリの米がおいしいところです。富山に30年以上いましたので、時々(頻繁に?)富山弁が出てしまうことがあります(わからないことがあれば、教えてください)。奇しくも東北・関東大震災後にこちらに来て、毎日のように余震が続いていますが、もう大分慣れました(富山は以前から地震がほとんどありません)。つくばは筑波大学を中心とし、数々の研究所があり、緑も多い学園都市という印象です。農作物や果物も豊富と聞いています。早くこちらの生活に慣れて、皆さんの健康維持に協力できるよう、これから頑張っていきますので、よろしくお願いします。

スタッフ紹介-2

4月より、**新体制(木～土曜日のみ3診制)**にて診療が開始されました。第3診察室(予約室の2つ先)は第1・第2診察室と離れているため、皆様にはご不便をおかけすることもあると思いますが、ご協力のほど宜しくお願い致します。

1月から看護師として勤務させていただいております高橋優子と申します。以前は虎の門病院の透析室、呼吸器内科病棟で勤務しておりました。糖尿病の専門クリニックでの勤務は初めてで、不慣れな点も多くご迷惑をおかけすることもあると思いますがよろしくお願い致します。

(看護師・高橋優子)

1月から看護師として働いています。去年まで、東京慈恵会医科大学付属病院で教育入院の患者様を中心に、糖尿病教室を含めた生活指導を行って来ました。糖尿病療養指導士として、日常生活に合わせた生活指導・看護が行えるよう日々努力してまいります。いたらない点も多いかと思いますが、よろしくお願いします。

(看護師・田辺友紀)

今年の1月から、勤務しております。昨年の12月まで、つくば市立病院の臨床検査室で生理検査(主に小児神経の脳波検査)と検体検査を担当しておりました。これまでの経験を生かし、当院でも分かりやすい検査を目指し、地元の皆様の健康に貢献したいと思っております。検査室では気軽に声を掛けて頂ければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

(臨床検査技師・後藤千恵子)

はじめまして。以前は実習助手として筑波キリスト教大学に勤務していました。医療の現場は初めてで、まだまだ勉強不足ですが、皆さんが笑顔になれるお手伝いができるよう、頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

(管理栄養士・高橋郁子)

入職してまだ間もないですが、一スタッフとしてお声をかけていただけますよう、今後とも努力を惜まず、皆様のお気持ちに寄り添った対応を心がけていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

(栄養士・深作貴子)

4月から正職員となりました。3か月間の研修で学んだことを生かして、これからも仕事をしっかりと覚えていきたいと思っています。いつも笑顔を絶やさずに明るく頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

(医療事務・中山亜耶)

4月より正職員となりました。昨年は、5月にあった桐の木会総会や、6月のウォークラリー、9月の運動の会と多くの場面で皆さんと運動を通して関わることができ、私自身非常に充実した1年となりました。これからも多くの場で皆さんのお役に立てるよう、精一杯頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。今後は、地下のトレーニングルームにて定期的に健康運動教室を行いたいと考えています。興味のある方や、運動療法で困っていることがある方、いつでも声を掛けて下さい。

(健康運動指導士・井上実咲)

**2011年5月19日～21日に日本糖尿病学会
年次学術集会(札幌)が開催されます。**
当院からも医師2名、コメディカルスタッフ
3名が発表します。院長が自身の発表や座長と
して毎日出席するため、今年の学会開催期間は
休診とさせていただきます。ご了承ください。
尚、5/18(水)は臨時に診療致します。

